

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2019年度 事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)



目次

- p.3 2019年度総括
- p.4 役員名簿
- p.5 組織戦略センター報告
 - 1. 財政基盤は安定
 - 2. 経営情報アンケートの実施
 - 3. 製作会社の活躍の場を広げる
 - 4. 広報推進会議
- p.6-7 メディアセンター報告
 - 1. 「働き方改革」の実現へ
 - 2. 「製作取引の適正化」キャンペーンの強化・継続
 - 3. 「メディア委員会」の活発化で製作力の向上・強化を
 - 4. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の推進
- p.7-8 事業センター報告
 - 1. 第35回 ATP 賞テレビグランプリ
 - 2. テレビクリエイターズフェス 2021 東京
 - 3. 育成とセミナー
 - 4. インターンシップ
 - 5. 第8回 ATP 若手映画プロジェクト
 - 6. 第14回アジアドラマカンファレンス 2019 の開催
- p.8-9 関西センター報告
 - 1. 第7回 ATP 上方番組大賞、関西新春交流会の実施
 - 2. テレビクリエイターズフェス 2021 大阪
 - 3. 関西協議会の開催
 - 4. 在阪放送局との協議
- p.9 2019年度活動記録（2019年4月～2020年3月）
- p14 その他

【2019年度総括】

当年度の事業は、内容、予算とも概ね計画通りに達成することができました。まずは、会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事並びに各プロジェクトの実行委員各位の熱意と努力の賜物と、深く感謝を申し上げる次第です。当年度の「経営情報アンケート」では、製作会社の「微減収・大幅減益」が明らかになり、働き方改革などによる経費上昇が影響を与えていることが、アンケートの結果より読み取る事が出来ました。2020年4月より、多くの製作会社が改正労働基準法の適用となります。私たちにとって働き方改革は「作り方改革」と捉え、良質なコンテンツ製作を保証するための適正な労働環境を確保していくことが、喫緊の課題と考えています。ATPでは理事13名、会員社の勤怠担当4名に参加いただき「働き方改革プロジェクトチーム」を立ち上げました。そして6ヵ月検討を重ね、番組製作の遵法モデルケースをまとめた「ATP放送コンテンツ製作の働き方改革プラン2020」を策定しました。2020年2月より、このプランを元に完全遵法製作を目指し、放送事業者との協議を始めました。制作現場での具体的な改善ポイントをテーマとし、現在も協議を続けています。

主な事業について、「第35回ATP賞テレビグランプリ」「第7回ATP上方番組大賞」「Tokyo Docs 2019」「ATPメディア委員会」「ATP合同新人研修セミナー2019」「ATPサマーインターシップ2019」を行いました。皆様のご協力を得ながら充実した内容となり、盛会裏に終えることができました。「テレビクリエイターズフェス2021」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。次善の案を登録した学生約1300名に案内し、参加予定であった出展社のアピールを行います。現在、製作会社の海外ビジネス成功例は僅かですが、国内マーケットが縮小傾向にある中、その必要性が高くなっています。当年度は「第14回アジアドラマカンファレンス2019」への参加、「IDFA 2019」への派遣を行いました。ATPの活動を映像業界や学生に広く周知するため、当年度よりFacebook、Instagram、LINE公式アカウントを開設し好評を得ております。ATPが構成委員となっている総務省の「放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議」から「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(第6版)」が発表され、説明会などで周知、啓発を行いました。

2019年度は映像産業変革期の中で、道半ばの活動もありますが、次世代の製作会社を目指し、積極的に取り組んだ一年となりました。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 福浦 与一

【役員名簿】

2019年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった

《所属会社、役職は2019年6月当時》

氏名	所属社名	役職	
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事長
相川 弘隆	(株)いまじん	代表取締役社長	副理事長
清水 哲也	(株)ドキュメンタリージャパン	代表取締役	副理事長
長谷川 豊	(株)レジスタ X 1	代表取締役	副理事長
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	代表取締役	副理事長
伊藤 慎一	(株)シオン	代表取締役	理事
大野 光浩	(株)えすと	代表取締役	理事
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
音 好宏	上智大学新聞学科	教授	理事
武井 泉	(株)東阪企画	代表取締役会長	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	代表取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレパック	取締役	理事
林 健嗣	(株)《a》	代表取締役社長	理事
正岡 裕之	(有)かわうそ商会	取締役	理事
松葉 直彦	(株)テレビマンユニオン	取締役	理事
水野 伸宏	(株)クラッチ.	代表取締役	理事
森田 道明	(株)ジェイワークス	代表取締役	理事
吉村 文雄	東映(株)	コンテンツ事業部長	理事
三門 健一郎	ATP 事務局		常務理事
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	エグゼクティブプロデューサー	監事
中尾 幸男	(株)テレパック	ゼネラルプロデューサー	監事

【事業報告】

＜組織戦略センター＞ 副理事長 山田 治崇

1. 財政基盤は安定

ATP 全体では、安定的な収支状況になりましたが、各事業で支出を上回る収入を得るには至らず、他事業や新規事業に活用強化する事は出来ませんでした。新規会員の獲得については、製作会社7社の入会がありました。新賛助会員社の入会はありませんでした。製作会社7社の入会動機は、テレビクリエイターズフェスへのブース出展を目的とした入会が大半を占める結果となっています。当年度入会の7社の内、5社よりテレビクリエイターズフェスへの出展を頂きました。

2. 経営情報アンケートの実施

当年度、7月に会員社を対象に「経営情報アンケート」を実施し、9-10月に集計結果と分析報告を行いました。今回の経営情報アンケートでは、総売上と経常利益の平均値が「微減収・大幅減益」となりました。その他の項目の回答などから、特に各社が働き方改革を進める中で、人件費や経費が増えているにも関わらず、その上昇分が制作費に反映されていないことが、アンケートの結果より読み取る事が出ました。回答社数については、実施時の会員社数122社に対して、回答社数71社（前年度73社）、回答率58.2%（前年度60.8%）と前年を若干下回る回答になりました。

3. 製作会社の活躍の場を広げる

当年度は、下記カンファレンス及びマーケットにKプロジェクト予算を活用し、ATP関係者の現地への派遣、視察などを行い、帰国後に報告会や関係会議での報告を行いました。9月4日（水）～9月7日（土）韓国仁川で開催された「第14回アジアドラマカンファレンス2019」に、ATPより沼田理事を団長とするドラマ製作会社の代表、総勢24名にて参加しました。また、11月20日から12月2日にかけて開催された世界最大のドキュメンタリー・マーケット「IDFA 2019」に、製作会社としてIDFA活用の可能性を探る為の派遣を行いました。アジアドラマカンファレンスについては、Kプロジェクトの予算の他に平成30年度「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金（J-LOD）」（半額助成）を使用しました。

4. 広報推進会議

「ATP賞」受賞式当日の記者懇談会を通じた情報発信として、「ATP賞テレビグランプリ」に関する受賞作品や審査総評を中心に、ATPが日頃重点的に取り組んでいる「働き方改革」や「製作取引適正化」に関する事項などを広く周知しました。また、当年度より広報活動の新たな取り組みとしてFacebookページ、Instagram、LINE公式アカウントを開設し、SNSを活用したデジタルマーケティングを始めました。ATP賞受賞式前にはFacebookにて広告出稿を行う等

フォロワーを増やし、グランプリ発表時には多くの反響をいただきました。その他、ATPの活動を随時発信しました。

＜メディアセンター＞ 副理事長 清水 哲也

1. 「働き方改革」の実現へ

6月に「働き方改革プロジェクトチーム」を立ち上げ、ドラマ、ドキュメンタリー、情報・バラエティのジャンルごとに、放送局への要望事項の検討を進めてきました。11月～12月にかけては、働き方改革についてのATPの考え方を「緊急提言」(ATP会員社ページより参照)としてまとめ、在京キー局、NHK、WOWOW、在阪民放局を訪問し、協力依頼を行いました。並行して各ジャンル別の番組製作ワークフローの遵法モデルケースとして「ATP放送コンテンツ製作の働き方改革プラン2020」を策定し、1月30日、2月10日の2回に亘りATP会員社への説明会を開催し、周知を行いました。説明会での会員社の意見を反映し、2月下旬より放送局へ「働き方改革プラン2020」の説明、協議を始めています。

2. 「製作取引の適正化」キャンペーンの強化・継続

ATPが構成委員となっている総務省の検証・検討会議にて議論、検討を行っておりました放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(第6版)が8月に発表され、会員各社へのメールでのお知らせ及び第31回メディア委員会において、改訂概要の説明を行いました。さらには、総務省、中小企業庁主催の放送コンテンツ適正取引ガイドライン講習会のご案内、放送コンテンツ製作取引・法律相談ホットラインのご紹介など周知、啓発を行いました。また、業界全体の取組みとしては、ATPと民放連が共同事務局を務めている「放送コンテンツ適正取引推進協議会」にて、東北地区(仙台)研修会、東海地区(名古屋)研修会を開催し、放送事業者、番組製作会社の皆様に周知、啓発を行いました。

3. 「メディア委員会」の活発化で製作力の向上・強化を

全3回のメディア委員会を開催し、周知、共有に努めました。それぞれのテーマは、下記のとおりです。開催日、議題等は、P9以降の2019年度活動記録に記載。

第30回 ATP メディア委員会 「番組制作における実務に即した権利処理と法的対応」

第31回 ATP メディア委員会 「製作会社に求められる働き方改革(4月からの法施行を受けて～)」

第32回 ATP メディア委員会 「ジャパネットが新規BS局で目指す放送コンテンツの未来」

4. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の促進

ATPが共催するコンテンツの国際展開を支援するイベント、Tokyo Docs 2019では、既存の放送事業者だけでなく、Netflixや中国のTencent、bilibiliなどの動画配信事業者、デジタルメディアのVICE Mediaをゲストとし、国際展開を目指して企画提案会議を行いました。また、ドキュメンタリー作品の上映会をTokyo Docs期間中に開催し、企画や完成作品の新たな

展開の可能性・販路を広げました。開催3回目となるショート・ドキュメンタリー・ショーケースでは、前年度に続き、Yahoo! JAPANの「クリエイターズプログラム」との連携に取り組みました。この継続開催の成果として、作品応募数、海外ゲストによるショート作品の質に対する評価が前年に比べ向上しました。

<事業センター> 副理事長 相川 弘隆

1. 第35回ATP賞テレビグランプリ

受賞式典を7月11日(金)六本木のハリウッドホールにて開催しました。応募総数は、186作品(番組部門159、新人賞27)。栄えあるグランプリは、「ドラマ10 透明なゆりかご」(製作: NHK エンタープライズ/NHK)、最優秀新人賞には、長谷川玲子さん(セイビン映像研究所)「BSフジサンデースペシャル ザ・ノンフィクション特別編 母の涙と罪と罰」(BSフジ)が選出されました。

2. テレビクリエイターズフェス2021

前回までは、2日間の開催が通例となっておりますが、他の就職イベントとの日程の重複などの影響で、初日と2日目の学生の参加人数に差が出ました。今年度は学生にも有利になるように1日開催としました。しかし、新型コロナウイルスの影響で当初予定の3月16日(月)から4月24日(金)に延期しての開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の行方が見えない中、出展各社のスタッフの皆様や来場する学生へ、十分な衛生対応をとることが困難と判断した為、開催中止となりました。

3. 育成とセミナー

「ATP合同新人研修セミナー2019」を4月4日(木)~4月5日(金)の2日間に亘り開催し、40社、214名の新入社員が参加しました。研修では、社会人としての基本である「マナー研修」や制作者としての肝となる「企画の立て方」、放送倫理に関する「コンプライアンス研修」、また特別講師としてゴルゴ松本様を招き、出演者ならではの経験談やアドバイスなどを頂きました。毎年恒例のザ・テレビマン・サバイバル(スタッフ座談会)では、加盟社から5名の先輩社員を講師に、新入社員からの疑問や不安に対し、制作現場の現状などを語っていただきました。

4. インターンシップ

8月から9月にかけての約1ヶ月半に亘り、参加会社25社(東京22社:大阪3社)、参加学生74名にてATPサマーインターシップ2019を実施しました。マッチング成立は71名となりましたが、応募学生107名に対し、受入社数・受入卒数ともに前年より増え、受入卒は83卒と過去最高となりました。

5. 第8回 ATP 若手映画プロジェクト

企画募集については、2019年7月24日より開始、10月末の締切りと致しました。今年度は、企画の応募が0の為、選考企画はありませんでした。

6. 第14回アジアドラマカンファレンス 2019

『Beyond Asia to the World -アジアドラマ、さらなる世界へ』をテーマに第14回アジアドラマカンファレンスが9月4日(水)～9月7日(土)韓国仁川にて開催されました。ATPからは、沼田理事を団長とする総勢24名で参加致しました。今回の目玉は、配信最大手のNetflixが同カンファレンスの後援者、支援者となりました。日中韓をはじめ東南アジア諸国、非アジア(英米圏等)から参加した第一線で活躍する脚本家、ドラマ製作者、コンテンツ事業プロデューサーらとの情報交換や熱のこもったビジネスミーティングとなりました。帰国後、ATP会員社を対象にした「アジアドラマカンファレンス報告会」(10月30日)を開催し、17社19名の皆様に参加を頂きました。報告会では、Netflixの参画における今後の展望などを報告いただきました。

<関西センター> 副理事長 長谷川 豊 センター長 森田 道明

1. 第7回 ATP 上方番組大賞、関西新春交流会の実施

受賞式典及び関西新春交流会を2020年1月28日(火)リッツ・カールトン大阪にて開催しました。グランプリについては、昨年に引き続きATP関西加盟社に加え、関西で放送・ジャーナリズム等を学ぶ大学生の代表に投票いただきました。投票の結果「情熱大陸 ロンドンで、大阪で…通行人騒然!? 結成20周年のコブクロが史上最大のストリートライブに挑む」(製作会社:クラッチ. 放送局:毎日放送)に輝きました。最優秀新人賞については、ATP関西加盟社の投票により新人賞4名の中から、佐伯梨奈さん(レジスタエックスワン)が選出されました。

2. テレビクリエイターズフェス 2021 大阪

新型コロナウイルスの影響で当初予定の3月29日(日)から4月30日(木)に延期して開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の行方が見えない中、出展各社のスタッフの皆様や来場する学生へ、十分な衛生対応をとることが困難と判断した為、開催中止となりました。

3. 関西協議会の開催

9月10日(火)新梅田研修センターにて関西ATP加盟社による関西協議会を開催しました。協議会では、下記(1)-(3)の議案について議論、意見交換を行いました。第7回上方番組大賞については、人材育成、若手スタッフのモチベーションアップの観点などから各社からの新人

賞への積極的な応募をお願いしました。働き方改革については、働き方プロジェクトチームが進めているアンケートの分析結果及び関西 ATP 会員社と未加盟社の回答を報告しました。

- (1) 第7回 ATP 上方番組大賞について、
- (2) 「働き方」アンケートについて
- (3) TV CREATORS FES 2021 について

4. 在阪放送局との協議

働き方改革プロジェクトチームが作成した働き方改革についての ATP の考え方「緊急提言」(ATP 会員社ページにて参照)及び「在阪製作会社 令和 2 年度の課題」を持参し、在阪民放局へ協力をお願いを行いました。「在阪製作会社、令和 2 年度の課題」については、在阪製作会社が抱える課題について、各局の取組み状況や今後の対応などご回答をいただくようお願いしました。

【2019 年度活動記録】

※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

2019 年 4 月

●ATP 合同新人研修セミナー2019 4月4日(木)～4月5日(金)

場所：虎ノ門ツインビルディングカンファレンスホール B1F

参加者：40 社 214 名

【1 日目】

『ATP の主張』説明：清水哲也(ATP 副理事長)

『テレビ番組が出来るまで』講師：長浜薫(日テレ アックスオン)

『AD 最初のさいしょ』講師：野澤尚弘(IVS テレビ制作)、三好剛(IVS テレビ制作)

『クリエイティブ・ノンフィクションとは?』講師：佐々木健一(NHK エデュケーショナル)

『命の授業』講師：ゴルゴ松本(ワタナベエンターテインメント)

【2 日目】

『コンプライアンス研修』講師：福井宏(日本テレビ放送網)、後藤俊哉(日本テレビ放送網)

『マナー研修』講師：井原恵津子(オフィス・グランツ)

『ザ・テレビマン・サバイバル』進行：松葉 直彦(ATP 理事)

パネリスト：小林香央莉(シオン)、五位野春花(厨子王)、土井翔生(共同テレビジョン)、
中村仁美(テレコムスタッフ)、吉村昇一郎(東京ビデオセンター)

2019 年 6 月

●TokyoDocs 第 5 回企画開発ワークショップ 6月7日(金)

場所：ビジョンセンター浜松町会議室 4F I 会議室

内容：第 1 部 ゲストトーク(ゲスト：植山英美 アーティクルフィルムズ)

第 2 部 グループ・ブレインストーミング

参加者：17 名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 6月8日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：31名
登壇者：泉愛実（エスエスシステム）、梅澤翔（えすと）、三木茜（いまじん）、
出口明日香（東京ビデオセンター）

●TokyoDovs Master Class 6月21日(金)

場所：TKP 浜松町ビジネスセンター カンファレンスルーム 3A

内容：海外講師とのWEB会議

参加：小西晴子(ドキュメンタリーアイズ)、長塚洋(インプレオ)、
小野さやか(ドキュメンタリージャパン)、寺峯時男(東京ビデオセンター)、
高城あずさ(テレビマンユニオン)

●TokyoDovs Master Class 6月28日(金)

内容：海外講師とのWEB会議

参加者：前回と同様

2019年7月

●第35回ATP賞テレビグランプリ 受賞式 7月11日(火)

会場：六本木ハリウッドホール、来場者数：450人

祝辞：総務省 吉田 眞人情報流通行政局長

日本放送協会 木田幸紀専務理事

日本民間放送連盟 大久保好男会長

・グランプリ

ドラマ部門 ドラマ10 「透明なゆりかご」 NHK エンタープライズ/NHK 総合

・最優秀賞

ドキュメンタリー部門 「BS1 スペシャル テロリストの母と呼ばれて 闘いと再生の記録」
(アマゾンラテルナ/NHK BS1)

情報・バラエティ部門 「見上げればあなたはいつもそこに ～祝 還暦・拝啓東京タワー様～」
(テレコムスタッフ/NHK BS プレミアム)

・最優秀新人賞

長谷川玲子 (セイビン映像研究所)

※受賞作品等の詳細は、ATP ホームページを参照ください。

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 7月13日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：74名

登壇者：大石佳奈（エスエスシステム）、石井満梨奈（テレパック）、

天谷来翔（スローハンド）、藤本佑太（ユーコム）、安田裕紀（キメラ）

●第30回メディア委員会 7月23日(火)

場所：ビジョンセンター浜松町 6F E会議室

内容：第1部 働き方改革プロジェクトチーム会議について

各局、団体協議について

共同で著作権を持つNHK番組の素材使用に関する運営管理について

日本脚本家連盟「再放送使用料改訂」について

第2部 「番組制作における実務に即した権利処理と法的対応」

講師：高田伸一、福地 研志(Field-R 法律事務所)

参加者：37社 69名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 7月25日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：65名

登壇者：有瀧希(いまじん)、延原亜沙美(やんかわ商店)、野田健太(テレパック)
可香谷慧(ドキュメンタリージャパン)、鶴田可南子(東京ビデオセンター)、
水口拓郎(テレコムスタッフ)

2019年8月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 8月24日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：47名

登壇者：辻潤(いまじん)、高橋大樹(エスエスシステム)、山本あづる(東阪企画)、
岡田涼(ディレクターズ東京)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 8月31日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：62名

登壇者：橋本稔里(東京ビデオセンター)、石田麻衣(ホリプロ)、
神谷美帆(東阪企画)、松井至(テムジン)、伊澤翔太(いまじん)

2019年9月

●第14回アジアドラマカンファレンス 9月4日(水)～9月7日(土)

開催国：大韓民国 仁川広域市

主要参加団体：【韓国】(社)韓国放送作家協会、(社)韓国ドラマ制作社協会、
KBSドラマセンター、SBSコンテンツハブ、JTBC、MBC、他
【日本】(一社)日本放送作家協会、(一社)全日本テレビ番組制作社連盟
(一社)AIE(地域企業連合会九州連携機構)、市川森一脚本賞財団
【中国】中国テレビドラマ制作産業協会、上海貫一文化伝播有限公司
北京影視芸術会、華策グループ、iQIYI(愛奇芸、北京/台湾
北京雲菜鳥文化メディア有限公司、AREメディア、芒果TV
青春芸賛メディア、留白影視文化有限公司 他9団体

●第31回メディア委員会 9月25日(水)

場所：ビジョンセンター浜松町 6F E会議室

内容：第1部 総務省 放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(改訂)について
各局、団体協議について

日本脚本家連盟「再放送使用料改訂」について

第2部 「製作会社に求められる働き方改革(4月からの法施行を受けて)」講座

講師：森紀男(株式会社スタッフコンサルティング 代表)

出席者：42社 81名

2019年10月

●局訪問(東京)

NHK 10月3日(木)

議題：常時同時配信について、他

●Tokyo Docs Nite(ナイト)@山形国際ドキュメンタリー映画祭 10月14日(月・祝)

場所：レストラン・ブルーノ(山形市本町)

内容：体験談を踏まえ、国際共同製作の魅力について話合うセッション

登壇：今村研一(NHK エンタープライズ/Tokyo Docs アドバイザー)

坂上香(ドキュメンタリー映画監督)

参加者：37名

●Tokyo Docs 2019 プレイベント in 上智大学 10月19日(土)

場所：上智大学 6号館(ソフィアタワー)6-410教室

内容：「牧師といのちの崖」上映、トークセッション

登壇：加瀬澤充、煙草谷有希子(ドキュメンタリージャパン)

音好宏(上智大学教授 新聞学科長 同メディア・ジャーナリズム研究所所長)

参加者：160名

●Tokyo Docs ドキュ・メメント 2019 10月18日(金)～20日(日)

場所：一龍屋台村、本照寺、ボーダーランド・ブックフェア

内容：制作者によるトーク&上映会、展示会、悩み相談会 など

●第14回アジアドラマカンファレンス報告会 10月30日(水)

場所：ビジョンセンター浜松町 5F「F室」

内容：第14回アジアドラマカンファレンス現地レポート

参加者：17社 19名

2019年11月

●Tokyo Docs 2019 11月4日(月・祝)～11月7日(木)

場所：JA 共済ビル カンファレンスホール/Nagatacho GRiD 地下1F・1F

内容：

11/4 Colors of Asia 2020 ピッチ/Colors of Asia 2019 シンポジウム「アジアを語ろう！」/
オープニング・パーティー/オープニング上映会

11/5 ピッチング・セッション/個別ミーティング/ゲストに会おう at ハッピーアワー/
Colors of Asia 2019 上映会

11/6 ピッチング・セッション/個別ミーティング/ワークショップ1/気鋭の作家作品 上映会

11/7 ショート・ドキュメンタリー・ショーケース 2019/フォローアップ セッション/
個別ミーティング/ワークショップ2/授賞式/クロージング・パーティー

参加：海外25か国・地域から70名が参加(このほか日本からは、9名が参加)

一般来場約1,290名(4日間延べ)

(受賞企画)

・最優秀企画賞

「ユーパロのミチ」 伊藤詩織 ハナシ・フィルムズ(イギリス)

「リングで戦う母」 ユエ・ウー/ビンセント・ドゥ(中国)

・優秀企画賞

「憂鬱の島」 ジーウン・チャン/ピーター・ヤム BLUE ISLAND PRODUCTION LIMITED (香港)

「アニメ：夢と武器」 高城あずさ/小林みつこ テレビマンユニオン (日本)

「お母ちゃんと小雁」 濱詰由紀子/小林麻衣子 東京ビデオセンター (日本)

「東京クルド」 日向史有(ドキュメンタリージャパン)/植山英美(アーティクルフィルムズ)

●局訪問(東京)

WOWOW 11月19日(火)、TBS 11月21日(木)、日本テレビ 11月22日(金)

テレビ東京 11月22日(金)

議題：働き方改革プラン2020 完成後、部門責任者への説明や協力要請のお願い

2019年12月

●局訪問(大阪) 12月5日(木) ※訪問順

関西テレビ放送、毎日放送、読売テレビ放送、テレビ大阪、朝日放送

議題：働き方改革プラン2020 完成後、部門責任者への説明や協力要請のお願い

●団体訪問(東京)

日本民間放送連盟 12月10日(火)

議題：働き方改革プラン2020 完成後、各局への説明について

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 12月14日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：62名

登壇者：森山悠(えすと)、木下俊(いまじん[午前])、下地敏史(いまじん[午後])、

琢磨修一(テレビマンユニオン)、倉田清香(ドキュメンタリージャパン)、

三本千晶(テレパック)

●局訪問(東京)

テレビ朝日 12月11日(水)、フジテレビ 12月12日(木)、日本放送協会 12月17日(火)

議題：働き方改革プラン2020 完成後、部門責任者への説明や協力要請のお願い

2020年1月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 1月11日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：58名

登壇者：加藤信(大河プロダクション)、中村恭子(えすと)、奥村麻美子(ホリプロ)

内山就隆(ジャパネットメディアクリエーション)、榊島知佳(東京ビデオセンター)

●ATP 新春交歓会 2020 1月22日(水)

場所：都市センターホテル 3F「コスモスホール」

出席者：ATP 会員社/154名 会員社以外/159名 合計 313名

祝辞：吉田真人(総務省 情報流通行政局長)

小孫茂(日本民間放送連盟 副会長 副会長 副会長)

高野学(テレビ東京 総合編成局長)

田代秀樹(WOWOW 取締役)

乾杯：上田良一(日本放送協会 会長)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 1月25日(土)

場所：マイナビルーム新宿、参加者：38名

登壇者：池田葵(大河プロダクション)、相澤一樹(NHK エンタープライズ)、

三瀬竜弥(東京ビデオセンター)、小原佑斗(シオン)

●第7回 ATP 上方番組大賞&関西交流会 1月28日(火)

会場：リッツカールトン大阪 ボールルーム イーストセントラル

来場者数：放送 38名、一般 42名、会員 44名、登壇 23名、投票大学 22名 合計 169名

来賓挨拶：大島尚(朝日放送テレビ 取締役)

乾杯：吉田京太(テレビ大阪 専務取締役)

※受賞作品等、ATP ホームページよりご確認下さい。

●関西表敬訪問 1月27日(月)~28日(火) ※訪問順

1月27日 テレビ大阪、讀賣テレビ放送、NHK大阪放送局

1月28日 関西テレビ放送、毎日放送、朝日放送

●第32回メディア委員会 1月29日(水)

場所：ビジョンセンター浜松町 6E

内容：第1部 緊急提言について

NHK 常時同時配信について

各局協議報告について

第2部「ジャパネットが新規BS局で目指す放送コンテンツの未来」講座

講師：土方雄介(株式会社ジャパネットメディアクリエーション)

参加者：38社 75名

●「放送コンテンツ製作の働き方改革プラン2020」説明会 1月30日(木)

場所：コンベンションホール AP 浜松町

内容：ジャンル別制作フローの説明、質疑等

2020年2月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 2月1日(土)

場所：青山学院アスタジオ、参加者：40名

登壇者：柳翔太郎(ダイメディア)、北出真優(クリエイティブネクサス)、

小巻英里香(東阪企画)、村井美穂(ホリプロ)、延原亜沙美(やんかわ商店)

●「放送コンテンツ製作の働き方改革プラン2020」説明会 2月10日(月)

場所：コンベンションホール AP 浜松町

内容：ジャンル別制作フローの説明、質疑等

●局訪問(東京)

NHK 2月13日(木)

議題：常時同時配信について、他

●TV CREATORS INTERNSHIP 2021 2月23日(日)

場所：マイナビビルーム新宿、参加者：39名

登壇者：石森允千(東京ビデオセンター)、青木貴之(東阪企画)、

風間太樹(AOI.Pro)、伊東亜由美(NHKエンタープライズ)

●局訪問(東京)

日本テレビ 2月27日(木)

議題：働き方改革プラン2020 説明

2020年3月

●局訪問(東京)

フジテレビ 3月4日(水)、NHK 3月9日(月)、TBS 3月13日(金)

議題：働き方改革プラン2020 説明

【その他】

1. 総会

●第7回通常総会(決算総会)

日時：2019年6月17日(月)

場所：コンベンションホール AP 浜松町 B+C ルーム

議案：

第 1 号議案 2018 年度事業報告書および決算報告

第 2 号議案 定款変更について

報告事項 2019 年度事業計画、2019 年度収支予算

2. 理事会 2019 年度の理事会は、全 5 回開催しました。

●第 38 回定例理事会 5 月 24 日(金)

「第 35 回 ATP 賞テレビグランプリ」特別賞について 承認

●第 39 回定例理事会 6 月 17 日(月)

入退会について 承認

●第 40 回定例理事会 9 月 27 日(金)

2019 年度経営情報アンケートについて 承認

日脚連「再放送使用料」改訂について承認

●第 41 回定例理事会 11 月 29 日(金)

日韓中制作者フォーラムについて承認

入退会について承認

JPPA AWARDS2020 後援名義について承認

●第 42 回定例理事会 2020 年 1 月 31 日(金)

日本ビデオコミュニケーション協会 No. 158 セミナー後援名義について承認

第 5 回関西放送機器展後援名義について承認

●電子承認

日本ビデオコミュニケーション協会 N0155 特別セミナー名義使用について承認 2019 年 4 月 8 日

MPTE AWARDS 2019 第 72 回表彰式 名義使用について承認 2019 年 4 月 8 日

Connected Media Tokyo 2019 後援名義使用について承認 2019 年 4 月 19 日

「全国地域映像団体協議会フォーラム 2019」名義使用について承認 2019 年 9 月 4 日

NHK プラス（常時同時配信・見逃し番組配信）について承認 2020 年 2 月 21 日

2019 年度 事業報告書（案）について承認 2020 年 3 月 31 日

2020 年度事業計画書（案）について 承認 2020 年 3 月 31 日

2020 年度予算書（案）について 承認 2020 年 3 月 31 日

3. 入退会

●入会

株式会社クリエイティブ 30(4 月)、株式会社オッティモ(4 月)、株式会社ゴーウェスト(4 月)

株式会社ゴシック(4 月)、株式会社ローリング(7 月)、株式会社 Journal Entertainment Tribute(12 月)

株式会社ダイズ(12 月)

●退会

株式会社オスカープロモーション(3 月)、株式会社ゼロクリエイト(3 月)

以上